

関西の全ての原発は停止中である 大飯原発運転差止裁判に勝利し再稼働を阻止しよう！

11月3日午後、大飯原発4号機は定期検査のために停止した。これで関西の原発は1台も動いていない。全機が停止するのは2017年5月以来である。

国内で稼働する原発は当面は九電の玄海原発4号機だけとなる。直近の稼働予定は、対テロ対策施設が完成し川内原発1号機と関西高浜3号機である。

大飯原発運転差止め裁判に勝利し全面停止を

12月4日に、上記裁判の判決が行なわれる。裁判の焦点は、原発の安全性の基本となる規準地震動について規制基準が定めている「ばらつき」について、各原発の審査では無視されていることが争われている。この裁判で「ばらつき」を正しく考慮すべきであるということが判決とされれば、単に大飯原発3,4号機だけでなく、全ての原発の規準審査が問題となる。その場合は、全てを停止して再度審査をやり直すべきである。提訴以来8年半の闘いの成果を獲得するために、法廷を傍聴者によって埋めよう。



大飯原発③④

11/15 (日) 屯鶴峯地下壕のフィールドワーク 近鉄大阪線「関谷駅」改札口 午前10時

台風14号で延期された屯鶴峯地下壕フィールドワークである。急斜面の山道もあるので、長袖・長ズボン、懐中電灯、弁当・水筒のご用意をして参加してください。
主催:大阪城狛犬会、1%の底力で朝鮮学校の民族教育を支える会

12/4 (金) 大飯原発3・4号機運転差止裁判 判決 (15:00~ 大阪地裁 202号法廷)

12月4日に、提訴以来8年半を経て判決公判を迎える。裁判の最大の争点として、地震動の過小評価が争われている。審査ガイドで指示された「地震動のバラツキ」の考慮を無視した国と関西の対応に対して鋭く批判している。大阪地裁での勝利に向けてぜひ傍聴していこう。

中学校教科書採択全国報告会2020
育鵬社を激減
に追い込んだ市民の闘い
取戻せ！市民主義を
育鵬社のぬい中学教
12/12 18:30~20:30
エルおおさか 南館大ホール
「戦争教科書」はいらぬ！大阪連絡会

12/12 育鵬社を激減 に追い込んだ市民の闘い

育鵬社教科書は大阪で激減！全国でも大きく後退した。教科書運動の歴史的勝利を確認し、なぜ育鵬社は敗北したのかを考える

18:30~20:30 エルおおさか南館大ホール
「戦争教科書」はいらぬ！大阪連絡会

■ 関西の原子力発電所の現状				
	運転状況	再稼働 予定時期	出力 (万kw)	運転 年数
美浜 3号機	老朽原発。安全対策工事を 終えて使用前検査中	21年1月	82.6	43
高浜 1号機	老朽原発。安全対策工事を 終えて使用前検査中	21年3月	82.6	45
高浜2号機	老朽原発。安全対策工事中	21年5月	82.6	44
高浜 3号機	定期検査中。テロ対策施設 の完成後に運転再開予定	20年12月	87	35
高浜 4号機	定期検査中。テロ対策施設 の完成後に運転再開予定	21年1月	87	35
大飯 3号機	定期検査中。配管の取り換 え工事後に運転再開予定	未定	118	28
大飯 4号機	定期検査中。	21年1月	118	27

南京証言集会「南京占領はいかになされたか！」

楊小平さんを講師に迎え、被害証言(映像)とインタビュー(映像)で南京占領を証言
12-12 13時開場 13:30 開始
PLP会館5階大会議室
南京大虐殺 60年大阪実行委



全関西原発停止中！もう再稼働はさせないぞ

2020年護憲集会「輝け憲法！平和といのちと人権を」 11/3 (祝) 阿倍野区民センターに300人結集

例年開かれる11・3護憲の行動は、今年はコロナ禍に対応して、阿倍野区民センターでの集会和、NET参加、集会後の街頭スタンディング行動が行われた。

大阪都構想との闘いの勝利を反映して、意気高い集会となった。集会後は阿倍野筋で、改憲ストップ！菅首相は学術会議の任命拒否を撤回せよ！敵基地攻撃NO！辺野古に新基地はいらない！東アジアに平和を！核兵器禁止条約の批准を！の行動を行った。

川内原発1号機のテロ対策施設完成 (11/11 共同)

対テロ対策施設(特定重大事故等対処施設)の建設が遅れ、今年の3月から停止していた川内原発1号機の設置が完了し、規制委員会の使用前検査に合格した。九電は11月末の再稼働を予定している。

村井宮城県知事が女川原発の再稼働同意 (11/12 朝日)

福島原発事故と同時に地震の被害を受けた女川原発の再稼働について、宮城県知事と立地の女川町と石巻市の三者会談で、再稼働への地元合意をした。東北電力は安全工事が終了する2022年以降の再稼働を目指す。

むつ中間貯蔵施設の規制規準が合格へ (11/12 産経)

東京電力と日本原電が出資する「リサイクル燃料貯蔵」(RFS)の使用済核燃料中間貯蔵施設(青森県むつ市)が新規規準に適合していると、規制委員会が決定した。空冷式の「乾式貯蔵」で最長50年間保管する計画である。但し搬出先はなく、保管の長期化の危険がある。

大阪市破壊(都構想)阻止の勝利を市民自治の前進に

市民の説明と説得、そして誠意で勝ち取られた勝利
賛成派の圧勝予想を覆した女性と若者の力!

賛成 67万5829票 49.37%
反対 69万2996票 50.63%



年齢層	賛成	反対
18～29歳	49.5	50.5
30代	54	46
40代	56	44
50代	51	49
60代	48.5	51.5
70歳以上	39	61

マスコミは議会での維新勢力の力と吉村知事の「人気」によって、賛成派が圧勝するとの予想を垂流していた。この流れを変えて反対派の勝利に導いたのは、市民の運動であった。それが各政党とつながることで勝利を勝ち取った。後半には市内の各駅頭で、マーケットの前で、商店街で多くの街宣活動が行なわれた。チラシを配布しながら大阪市廃止の説明をして、反対を説得するのに対して、市民からは「もう反対してきたで」「がんばれよ」との声があがり、選挙での勝利を確信させるものとなった。

NHKや朝日新聞の出口調査では、女性がほぼ全年齢で反対となり、世代的には60代以上と30歳以下が反対票を投じた。街宣でも、後半には若者がチラシを取りに来てくれるなど、今後の運動に大きな期待を持たすものであった。

トランプ米大統領顔負けの
松井市長の醜い生残り作戦
投票の結果に従えないのなら
直ちに辞職せよ!

米大統領選挙で、トランプ氏は、敗北を認めようとせず国民を分断しつづけている。これと同じように大阪維新の松井市長と、吉村知事は、一度は敗北を認めたものの、それでは維新がもたないと考えたのか、デタラメな「統合区構想」を言い出した。大阪維新の「都構想」が2度まで市民によって否決されたことを隠して、「二重行政防止が民意」として自らの主導権で大阪を混乱させて生き残ろうとしている。

市長が「都構想」に集中し、新型コロナ対策が放置される中で、大阪のコロナ死者数は全国最大となっている。今はまずコロナの感染対策と医療体制、中小企業と勤労者への経済対策こそが緊急である。投票結果に従えないのなら、市長の職を直ちに辞して政治の世界から引退すべきだ。

大阪市はコロナ対策に全力を尽くせ! コロナ禍により経営の危機にある中小事業者への補助を! コロナ禍で職を奪われた労働者・学生・フリーランスへの支援を! 子どもたちと学校でのコロナ対策を強化せよ!

この数日間大阪府の感染者数は200人を超え、11日には過去最多の256人となった。そして重症者数は10月の3倍ほどの58人(11/10)となっている。大阪での検査数はNET上に公表されておらず、東京などと比較すると大幅に少ないと言われている。

深刻な大阪の感染状況

下図の表を見ると8月をピークに10月頃まで比較的減少していた感染者数は11月に急激に増加し、若年層だけでなく中高年者を含む全世代に、そして繁華街だけでなく各地域に感染が拡大し、そして重症者が増加している。

死者数の都道府県別表を見ると、大阪は3-5月は4番目であったが、7-9月は120人で断トツの1位となっている。その6割近くが重症病棟を経由していないと言われている。これは大阪での医療施設や療養施設でPCR

検査が不足しているからと想定される。死亡者を減らすには早期発見と早期治療が不可欠である。

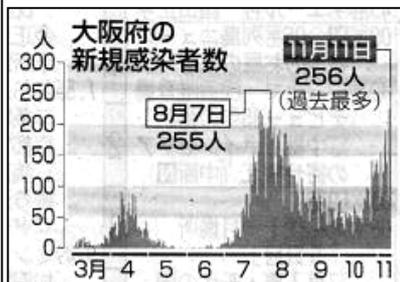
	3～5月	7～9月
① 東京	304人	大阪 120人(1.4倍) ※8791人
② 神奈川	85人	東京 83人(0.3倍) ※19513人
③ 北海道	84人	福岡 65人(2.3倍) ※4190人
④ 大阪	83人	愛知 52人(1.5倍) ※4847人
⑤ 埼玉	48人	神奈川 42人(0.5倍) ※5397人

カッコ内は3～5月の死者数との比較。
※は7～9月の感染者数

コロナ禍による中小企業と労働者を守れ

大阪は中小企業と商人の町である。コロナ禍で休業や大幅な減収となった中小企業、個人事業者、そして職を奪われ、あるいは収入が大幅に減少した労働者、学生、フリーランスの生活を守り、財政的援助をするのは自治体の役割である。また教育現場での感染対策と経済的に恵まれない子どもたちへの経済的補助、教育

の少人数化も必要である。医療現場では今なおサージカルマスクなどが不足している。必要な医療資源と体制の早急な充実が必要である。維新が削減した保健所の増設、人的・財政的拡充も大きな課題である。



松井市長は市民に拒否された「都構想」の焼き直しの「総合区構想」は撤回せよ!